旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２２年７月３１日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	讃美歌216「あぁ麗しきシオンの朝」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
教会学校		牧　師
讃　　美	讃美歌505「妙なる恵みや」	一　同
聖書朗読	詩篇第一篇	雅　子
奨　　励	詩篇の福音（第１回）	牧　師
主　　題	「幸いなる人」	
讃　　美	讃美歌313「この世のつとめ」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	ま　り
聖　　餐		
頌　　栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	第二テサロニケ書 第１章	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
７/31(日)聖日礼拝
８/１(月)
　/２(火)
　/３(水)
　/４(木)10:00聖研
　/５(金)
　/６(土)

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

投稿ハイライト

「実らないリンゴの木」
千田祥子　（2001年5月27日「河北新報」朝刊掲載）

６年ほど前に、ホームセンターで富士と津軽のリンゴの苗木を買いました。夢は我が家の庭で収穫したリンゴでアップルパイを作ることでした。リンゴ大好き家族なのです。二、三年は花も咲かず実もつけないことに何とも思っていませんでした。

その後も木はずいぶん大きくなり、葉は茂るのですが全く花が咲きません。花が咲かないので、実がなるはずがありません。今年も私たちの期待はおおきく裏切られ、一つの花も咲いていません。

聖書に、三年の間実をつけないイチジクの木を、農園の主人が園丁にもう切り倒せと言ったという話があります。園丁は**「今年もこのままにしておいてください、肥料をやってみますから。そうすれば来年実がなるかもしれません。もしそれでもだめでしたら、切り倒してください」**とお願いしました。私たちももう一年、もう一年と、リンゴの木が実をつけるまで何年も待とうと思います。

我が家の実らないリンゴの木を通して、学ぶことも多くあります。私の毎日は失敗も多く、落ち込んだり喜んだり、決して実を結んでいる生活とは言えません。でもリンゴの木の実がなることを願っている思いと同じように、多くの人たちの愛とゆるしによって今の自分があることを感謝しています。来年リンゴの実がなることを願いつつ。

「とうとう実ったリンゴの木」（2016年）

2001年5月のこの欄に「実らないリンゴの木」と題した投稿を載せていただきました。その六年前に買った苗木が21年経った今年、とうとう実ったのです。これまでも花が咲いたり実をつけたりしてはいましたが、虫喰いなどで食べられるまでには至りませんでした。それが今年二百個も実ったのです。お店で売っているほど立派ではありませんが、素朴な甘い味のとても美味しいリンゴです。

待ちに待った実りを人々と分かち合いました。聖書に**「植える者も、水を注ぐ者も、共に取るに足りない。大事なのは成長させて下さる神のみである」**とあります。リンゴの実のなることをひたすら待ち望み、肥料をあげ、見守って来て、今おおきな喜びを味わっています。この21年間を思う時、ただただ多くの人々から育てられてきた自分とリンゴの実が重なります。また、人の思いを遙かに超える方の大きな愛と忍耐に育てられたことを、実ったリンゴの木を通して学ばせていただきました。